

AIとCompassion

開発者と
ユーザーが
ともに考える
技術受容

人はロボットを擬人化し、愛着を持つ傾向がある。しかし、ロボットが感情的知性と共に愛着に応えてくれるのはまだ先になる。

スマートフォンで人は世界とつながる利便性を手に入れたはずだが、同時に分断が生まれ、つながらない自由が損なわれることもある。技術は本来は中立な存在であるはずが、作り方や使い方次第で技術の功罪が左右され、結果としてわたしたちの〈つながる感性〉が揺さぶられる。

本研究会では哲学者、ロボットエンジニア、システム工学者など多方面からの話題提供を得て、開発者やユーザーの皆さんとともに〈技術と社会〉のよりよい関係を哲学カフェ方式で考えます。今回採用するのはマンガソンによる2コママンガ表現。実際にマンガ家の指導を得ながら、それぞれの着想で技術がもたらすユートピアとディストピアの両方を想像し、ロボットをはじめとする技術がもたらす未来予想図をともに考えてみたいと思います。上廣環境日本学センターは、こういった人と技術の“あいだ”のエートを追求していく研究センターです。

話題提供者



谷川嘉浩

哲学
京都市立芸術大学

高田恵美

エンジニア
GROOVE X

吉川泰三

ロボット工学
HONDA R&D

塩瀬隆之

システム工学
京都大学総合博物館

ドウノヨシノブ

マンガ家
京都精華大学

吉川成美

環境日本学
総合地球環境学研究所

2024年11月16日(土) 15:00-19:00
(哲学カフェ 2h + マンガソン* 2h)

*マンガソンとは、ハッカソンの準備段階に相当するアイデア出しで、速やかなイメージ共有を図るためにマンガのネームづくりをヒントに表現を競い合うイベントです。

場所 | インパクトハブ京都(西陣産業創造会館2階) 〒602-8061京都市上京区甲斐守町97

主催 | 総合地球環境学研究所(上廣環境日本学センター)

企画運営 | インパクトハブ京都

お申込み | <https://x.gd/CzadYy>

お問い合わせ | インパクトハブ京都(Tel: 075-417-0115, Mail: info@impacthubkyoto.net)



Research Institute for
Humanity and Nature
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所

